

浜中町地域おこし協力隊通信 Vol.8

地域おこし協力隊の日々の活動や、私たちから見た町の魅力、感じたことをお届けします！

こんにちは！浜中町地域おこし協力隊です。
12月からぐっと冷え込むようになりましたね。皆さん暖かくしてお過ごしください！

タウン 浜中町産黒牛＆きりたん、横浜で大活躍

11月8日・9日、パシフィコ横浜で「ふるさとチョイス大感謝祭」が開催されました！このイベントは、全国の自治体がブースを設け、ふるさと納税の寄付者と直接交流できる場です。今年は全国から160以上の自治体が参加し、浜中町も出展。協力隊のタウンプロモーション推進員も同行しました。

浜中町のブースでは、**浜中黒牛のサーロイン試食を提供。2日間でおよそ800名の方が列をつくり、浜中町の味を楽しんでくださいました。**そして、今回特に感じたのは「きりたん」の圧倒的な人気。きりたんを知らない方でも、ブースの前に現れた着ぐるみや、飾られたイラストを見ると足を止め、一緒に写真を撮ったりパンフレットを手に取ったりと、さまざまな反応がありました。たくさんの方に浜中町を知っていただけた、充実の2日間となりました。（曾根原）



カメラに囲まれるきりたん▲



浜中町ブース前に大行列！▲

フラワー 町中の花壇の整備を進めています！

11月に文化センター前の通りの花壇の片付けを行いました。まずはマルチングシート（黒いビニールシート）をはがします。これが意外と大変！重い土の中から無理に引き抜くと破けてしまうので、土をどかしながら順繰りに引き抜いてきました。

次に終わった花苗を抜いてバラバラにして土に埋め、（来年の花の肥料になればとの思いで）花壇周りの雑草抜き。さらに、雑草の根切りと、空気を土に含ませるため、小型の自動耕運機を使って土おこしをしました。最後に散乱した土や砂の掃き掃除をし、土を平らにならして完了。作業中に何度も通りがかりの町民の皆様に「お疲れ様」とお声かけいただき励まされました。今後は霧多布一の通りの植栽枠調査を実施予定です。（大沼）



花壇整備中の様子▲

11月8日・9日の2日間、霧多布湿原センターで「三景のテーブルwith ラフィナージュ」が開催されました。本イベントは、浜中町の海・大地・湿原が生んだ食材を、生産者と料理人、そして浜中町のファンが共にテーブルを囲み、その真価を問い合わせる試みです。

記念すべき第1回のゲストは、ミシュラン一つ星を獲得した銀座

L'AFFINAGE の高良康之シェフ。雲丹や水タコ、浜中黒牛など浜中産の食材をふんだんに使った7品のコースが振る舞われました。

町内外から計40名が参加し、両日とも満席に。町内からは漁業組合や飲食業の方、タカナシ乳業の関係者も集まり、生産者と料理人が一堂に会する場となりました。



▲当社提供された料理の一部



一次産業を基盤とする浜中町にとって、五感に訴える「食」は最高のコンテンツです。観光体験だけでなく、食を切り口としたPRの重要性と、浜中町の食が持つ大きな可能性を改めて実感する機会となりました。(吉井)

タウン 魅力発信映像「ルパン三世の湯 霧多布温泉ゆうゆ」を公開しました！

「霧多布温泉ゆうゆ」の魅力発信映像を11月15日に

YouTubeで公開しました。撮影はゆうゆが開店する前の時間に実施。私が特に見ていただきたい箇所はミストサウナのシーンで、利用者目線でサウナの内側からミストが溜まっていく様子が見れます。町外の方からも「昔行ったことがあり懐かしかった」「いいお風呂だった」といった反響を頂けました。今後の動画も楽しみにしていてください！（丸亀）



▲ゆうゆをドローンで撮影



▲ミストサウナのシーン



←映像はこちらのQRからご覧いただけます！
チャンネル名：HAMANAKA-TOWN 北海道浜中町

Diary

協力隊の浜中ライフ

協力隊の日常の姿をお届けします♪-----



はまなか吹奏楽フェスティバルが開催されました！

11月8日、文化センターで「はまなか吹奏楽フェスティバル」が開催されました！幅広い年齢層の方がさまざまな楽器を使って音楽を披露する当フェスティバルでは、総勢59名、演奏楽曲は10曲以上という規模で開催されました。今回私は照明操作と写真撮影という形でサポートに入らせていただきましたが、見にきていた皆さんは美しいアンサンブルに感動している様子でした！ジュニアアンサンブルの子ども達も演奏前こそ緊張している様子でしたが、いざ始まるとな大人顔負けの堂々とした顔で演奏していました！（眞弓）



はまなか吹奏楽フェスティバル▲